

私の愛する 一点展

第20回

第20回「私の愛する一点展」開催にあたって
東御市梅野記念絵画館 館長 大竹永明

初代館長の梅野隆が発案し、当館友の会が企画する「私の愛する一点展」が第20回を迎えました。本来であれば、昨年に第20回展を開催するはずでしたがコロナ禍のため開催できず、およそ2年ぶりの開会となります。

「絵とのめぐりあいの喜びを伝えたい」という梅野隆の思いから始まった本展は、絵とその絵を持つ人との関係が展覧会の大きな要素となっています。そのため展示はコメントと不可分になっており、ある意味でコメントは展示において絵と同等の重要な価値を持っています。

何故その絵を身近に置くことになったのか？そこには人それぞれのドラマがあるはずですが、絵との出会いは、人との出会いと同等に人生における大きな出来事なのかもしれません。

高名な作家の絵や高額な絵でなくとも、人の胸に感じ入る絵はあるものです。展示されている1点1点の絵と、そこに出品者が何を感じたか？追体験をしていただければと存じます。



美は到るところにも溢れかえり、
ただ見ようとしていただけり
見るとは、ただ
大竹永明 後



2021年6月5日[土]～7月28日[水]

休館日＝月曜日（祝日の場合は翌火曜日）

会場＝東御市梅野記念絵画館 大展示室

入館料＝一般600円

（団体割引500円／障がい者割引400円）

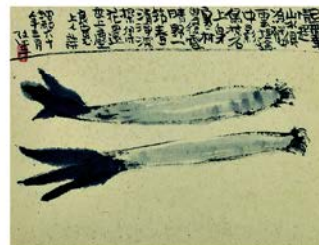
※団体割引は15名様以上から ※障がい者割引はご同伴者1名様も同額です

梅野記念絵画館 友の会会長 御子柴大三

「私の愛する一点展」の第1回展は2001年（平成13年）に始まり、評判を得て毎年絵画館の注目すべき展覧会となって今に至っておりますが、昨年は新型コロナ騒ぎによりやむなく中止となってしまいました。しかしながら本年、幸いなるか20回展となって再開できることとなり安堵した次第です。この喜びを会員皆様方と共に分かち合いたく存じます。さて、思い起こせばこの展、創設当時は会員の展に寄せる思いが展示にも、図録にも反映してさながら熱気に包まれるようでした。その後、回を重ねるごとに会員の展示作品の幾つかが注目され、それが三人展となったり、また大展示室の個展開催へと結実したことなどもあり会員の美意識が報われ嬉しいことでもありました。

折しも、本年は梅野隆初代館長（1926～2011）がお亡くなりになって10年という節目を迎えます。亡き館長が今展の成長、発展を誰よりも望んでいたことです。それに代るべく皆様の選りすぐりのコレクションが今回も観られること大いに期待いたします。

この国の理想的な美術のあり方を目指して。



Life with Art

2021年6月5日[土]～7月28日[水]

東御市梅野記念絵画館 ふれあい館 入館料：無料

私の愛する一点展に出品する多くの美術愛好家の方々は芸術を愛し、日常生活の中に「美」を取り入れている人たちです。絵画館では、芸術作品をもっと多くの人に身近に感じていただけるよう、東御市内にアトリエを構え、ヴィンテージ家具の輸入・販売を軸に、様々なものづくり活動を実践するPh.D代表 荒井健次氏と共に「美」のある暮らしを提案いたします。



荒井健次 Ph.D.

2016年、東御市に持続可能性をテーマにしたデザインスタジオ「Ph.D.」を設立、家具の修理や強替えを軸に新たなものづくりのあり方を示唆している。また普遍的な価値の高い家具を輸入、提案、販売するとともにワールドスタンダードなビンテージ家具の価値観や知識を国内に広めている。

- 2018 Alvar & Alno aalto design exhibition [NO DESIGN GALLERY NAKAMEGURO]
- 2019 よみがえる椅子、つどう椅子 [水戸芸術館] pop up shop in 六九street with mina perhonen [mina perhonen 松本 pop up shop]
- 2021 [tangent 一接点] 刊行記念フェア (つないで生かす、暮らし) [代官山 高屋書店]
- 2021 EARTH MALL at THE SHIBUYA WEEK [渋谷スクランブルスクエア]

東御市梅野記念絵画館・ふれあい館 〒389-0406 長野県東御市八重原935-1 芸術むら公園 TEL:0268-61-6161 FAX:0268-61-6162

■ 鉄道等の場合

しなの鉄道・田中駅からタクシーで15分

■ お車の場合

上信越道・東部湯の丸ICから約20分

Google Map▶



www.umenokinen.com

